

第23回市民との意見交換会・報告書（大戸地区）

開催地区：大戸地区	開催日時：令和元年11月13日（水）18時00分～19時45分
担当班：第5班（出席議員）古川雄一、松崎 新、大竹俊哉、大山享子、村澤 智（欠席議員）なし	
開催場所：大戸公民館	
参加人数：男性 11名、女性 2名、合計 13名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 1名）	
<p>1. 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>昼間でもクマ、イノシシが通学路に出てきて子どもの通学が危険である。学校から連絡が来て迎えに行くこともあるが、不在だとすぐに迎えに行くことができない。保護者が送迎するか、バスだと実費で通うことになる。安心して通学させたい。</p> <p>2. 地区別テーマでの意見交換についての総括</p> <p>(1) 地区別テーマ</p> <p>子ども子育て支援(子どもを産み育てることのできる支援のあり方)について</p> <p>(2) テーマ設定の理由、背景</p> <p>大戸地区の方から、「子ども・子育て支援の中で、若い世代が地区内で生活していくことが結果として子ども・子育て支援につながる。これまで小学校と中学校の児童について話し合いがされたが、若い方々が大戸地区に住み続けるための政策について話し合う場をつくることはできないか」との要望が出された。湊地区、町北・高野地区、神指地区においても同様の発言があった。そこで今日は、大戸地区の地図を準備したので、各集落ごとの小学生、中学生、高校生の児童・生徒数を記入して、その後子どもを産み育てることのできる支援のあり方について議会に教えて下さい。出された意見を市議会として子ども・子育て支援の政策に活かしていきます。</p> <p>(3) 主な地域課題</p> <p>小学校に通わせているが、中学校は、生徒数が少ないので大戸中学校に進学する子どもは少なくなっている。今年度は、半分は旧市内の学校に通うことになった。子どもたちのため、家族のために喫緊で何とかしてほしい。</p>	

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済
 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
県立病院の跡地については、子ども・子育ての施設を考えていただきたい。郡山市では、子どもの遊ぶ施設と子どもに関する手続きが1カ所で行える。会津若松市の施設整備もそのようにしていただきたい。	県立病院跡地の利活用については、子ども・子育て支援のための施設として利用すべきとの要望を多くの地区から伺っている。	○	①		まちづくり 児童福祉
新庁舎建設について、駐車場の問題はどの様になっているか。	当初、市役所第2庁舎に駐車場建設を考えていたが、葵高校のプレハブを撤去し駐車場を建設することに変更すると聞いている。	○	①		行政
市庁舎問題、国道118号からのアクセスについて、どのようになるのか。	現在地に建設すれば中心市街地の活性化に寄与するとの意見。旧県立病院跡地に建設すれば千石バイパスなどの幹線道路に近いとの意見が寄せられている。	○	①		行政
要望、建設委員会に危険な場所にガードレールの設置を要望したい。(別紙で要請、写真あり)	後日、日程調整し現場を確認する。	○ ●	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P8に記載)	交通安全 道路

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 子ども子育て支援
(子どもを産み育てることのできる支援のあり方)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
 <p>大戸地区の地図に集落ごとの小学生・中学生・高校生の数を記入している</p>	<p>大戸地区の方から、子ども・子育て支援の中で、若い世代が地区内で生活していくことが結果として子ども・子育て支援につながる。これまで小学校と中学校の児童について話し合いがされたが、若い方々が大戸地区に住み続けるための政策について話し合う場をつくることはできないかとの要望が出されました。湊地区、町北・高野地区、神指地区においても同様な発言がありました。そこで今日は、大戸地区の地図を準備しました。各集落ごとの小学際、中学生、高校生の児童、生徒数を記入して、その後子どもを産み育てることのできる支援のあり方について議会に教えて下さい。出された意見を会津若松市議会として子ども・子育て支援の政策に活かしていきます。</p>			
<p>大豆田地区は1年で2カ所の空き家ができている現状がある。現在70世帯中9世帯が空き家である。空き家を利用して住んでみたいという方がいれば市のホームページ等で呼びかけていただきたい。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>	○	②	
<p>会津児童園がグループホームをつくり5名が入居し、集落の人数が増えた。一方で、5名が家族で転居し、前の人数に戻った。住みにくい地区のため転居してしまったのか。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 子ども子育て支援
(子どもを産み育てることのできる支援のあり方)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
<p>大戸小学校と中学校を同じ敷地内に統合するとなれば、小学校はオープンスペースの教室で、中学校は老朽化で改修が必要となる。警察の駐在所は、家族で転居して住んでいるが、学校の先生は、なぜ家族で住まないのか、家族が住んでくれれば人口が増える。若者の定住を考えるとICTビルをなぜ大戸地区につくらないのか。政策的に大戸地区に建設してもよいと思う。空き家対策と若者の定住について、空き家を無償で貸せば希望者は現れるのではないか。</p>	<p>大戸地区の児童、生徒数が減ってきたので同じ敷地内に小学校、中学校を整備し大戸小中学校(小中一貫校)としてはいかがかとの意見があった。</p>	○	②	
<p>本日のテーマである子どもを産み育てることのできる支援のあり方に興味があって参加した。大戸小・中学校の課題は、生徒数、保護者が少ないこと。学校運営が困難になっている。コミュニティスクールが始まり、小中連携の活動が始まった。コミュニティスクールで学校と地域の連携をして大戸地区に住む人を増やしたい。そのため、若者が定着する場、住居などを行政主導で大戸地区に持ってきてほしい。例えば、5家族増えただけでも複式学級はなくなるのではないかと考える。若者定住に向け、何かを仕掛けていただかないと変わらない。子どもたちの住みよい環境をつくるためのアクションを求める。大戸小学校は緑の少年団活動で全国でも表彰されている。大戸地区に来れば別の立ち位置で子どもを育てることができる。移住は大歓迎である。</p>	<p>磐梯町の事例である。磐梯町は、子ども・子育て支援をさまざまな事業と連携して実施している。例えば小学校の児童数が少ない地区に若者の公営住宅を建設し、子どもが中学校を卒業すると転居するが、住宅地を安価で提供している。また、以前から保育所・幼稚園を無料化した。そうした政策で町外の若者が住み、児童、生徒数が増えた。こうした取り組みを会津若松市で行えないかとの意見、要望がある。こうした取り組みについての意見などを聞かせていただきたい。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 子ども子育て支援
(子どもを産み育てることのできる支援のあり方)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
<p>小学校に通わせているが、中学校は、生徒数が少ないので大戸中学校に進学する子どもは少なくなってきた。今年度は、半分は旧市内の学校に通うことになった。子どもたちのため、家族のために喫緊で何とかしてほしい。一つの事例だが、若い世帯の方が新たに家を建てるとき旧市内に建てることにした。現在何とかしてほしいことは、昼間でもクマ、イノシシが通学路に出てきて子どもの通学が危険である。学校から連絡が来て迎えに行くこともある。保護者が送迎するか、バスだと実費で通うことになる。通学するとき安心して通学させたい。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>	<p>○</p>	<p>②</p>	
<p>クマ、イノシシについて市や警察に通報したが、すぐに対応ができない状況である。人命への危険性がないとすぐに動いてくれない。クマとイノシシは、大戸地区全体の問題となっている。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>	<p>○</p>	<p>②</p>	
<p>大戸地区は、通勤に不便である。若者は、住むことができないと出て行ってしまふ。じいちゃん、ばあちゃんも旧市内と一緒に住まないかと声をかけるくらいだ。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>	<p>○</p>	<p>②</p>	
<p>住居があればそれに乗る若者はいる。住居費の問題をクリアすれば、期待感がある。若者に積極的にアピールすべきである。大戸地区は魅力的な場所である。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>	<p>○</p>	<p>②</p>	

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 子ども子育て支援
(子どもを産み育てることのできる支援のあり方)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
公共施設の住居があればよいが、通勤の際ガソリン代がかかる。その分住居費を安くする、退社後通勤時間がかかり帰宅が遅くなる、そのため保育所へ迎えに行く時間が遅くなってしまふ。その対策として保育所の保育時間の延長をしていただけないと産み育てることが困難である。公営住宅を建設するだけでなく、家賃、保育所の預かり時間など全体的な政策を考える必要がある。	ご意見として伺う。	○	②	
若者の子育て期間は約10年以上かかる。その制度も考えるべきだ。	ご意見として伺う。	○	②	
市内の住宅と農村部の住宅を分けて建設すべきと考える。交通、医療、道路のアクセス等全体的に考えることが必要である。大戸地区には温泉、鉄道、バスがある。若者の定住は難しいが何かアクションを起こさないといけない。	ご意見として伺う。	○	②	
若い人は、親と住みたくない考えである。	ご意見として伺う。	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について



→ 子ども子育て支援
(子どもを産み育てることのできる支援のあり方)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
	<p>本日の意見では、大戸地区に公営住宅を建てるだけでなく、市中心部への交通費の問題もあることから、その分も考慮した家賃を設定してはどうか、保育所の迎えは退社後の通勤時間を考えると柔軟に延長時間を設定する必要があること、空き家を活用して若者が仕事場や住居として利用する工夫などの意見が出されました。また児童・生徒数の減少による中学校への進学の問題、クマ、イノシシから通学時の子どもをどのように守るのかなどの意見も出されました。会津若松市は、令和2年に子ども・子育て支援事業計画の改定を行います。会津若松市議会は、皆様から出された意見を反映すべく取り組んでいきます。本日はありがとうございました。</p>			

市民との意見交換会・事後処理報告書

大戸地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 危険な場所へのガードレールの設置について (P 2)</p>	<p>【市民からの要望・質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設委員会に危険な場所にガードレールの設置を要望したい。（別紙で要請、写真あり） <p>【事後処理結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月20日大豆田地区、区長と調査活動を行った。 当該地区を確認したところ、写真のとおりガードレールが設置されており完了していました。 	<p>備考</p>  <p>国道121号と広域農道の合流付近</p> <p>出典 オープンストリートマップ</p>  <p>ガードレールが設置されていました</p>